

会議名	第2回新城地域協議会		公開
日時	令和8年5月21日(木) 午後7時00分～午後8時15分	場所	市役所本庁舎 4階会議室
出席者	(委員) 西尾泰昭、権田康之、矢賀美紀代、カークランド陽子、陶山典男、杉浦史佳、佐本達俊、今泉澄夫、藤田雅久、松浦正行、中川享子、村松敬史、鈴木雅晴、白柳明美、鵜飼正智、安形元成、福本克司、右田光也、神藤早弥香		
	(事務局) 市民自治推進課：菅野参事、林主任 新城自治振興事務所：今泉所長、藤本主任		
欠席者	野末茂、今泉栄	傍聴者	2名
配布資料	次第、	資料1	協議会委員グループ分け票、
	資料2	地域自治区予算事業・地域活動交付金事業検討の進め方	
	資料3	新城市地域自治区予算事業計画策定要綱	
	資料4	新城地域自治区予算事業に関する建議書(令和8年度事業)	
	資料5	令和8年度への引継ぎ事項について	
	資料6	グループワークの進め方	

議題・議事・発言等(要点記録)

<p>1 開会 会長あいさつ</p> <p>2 報告 新城地域自治区内で活動する団体から活動紹介 新城えがおひろば連絡会から、5月31日(日)に開催される「しんしろえがおひろば」の開催経緯・思いの説明、参加の呼びかけがあった。</p> <p>3 議事 (1) 令和8年度地域自治区予算事業検討 委員グループ分けの構成について、スケジュールを含めた事業検討の進め方について事務局より説明があった。その後、地域の困りごとについて意見を出し合い、その課題がしんしろ地域計画に載っているかの意見分類をしつつ、解決の優先度が高い困りごと及びその解決策についてグループワークで話し合いをした。</p> <p>○A グループ意見 空き家の荒廃が進んでいる、消防団員の不足、高齢世帯の増加・孤立化、若者の市外流出、地域資源が活かされていない、行政区の役員のなり手がいない、区の付き合いをしない世帯の増加、地域づきあいの希薄化といった意見があった。 つながりの場を作って、まずつながりたい人がつながれる環境を作ることが大事で、地域活動交付金を使ってもその環境を作ることができる、ということで話がまとまった。</p> <p>○B グループ意見 人口減が著しい。活用されていない空き家が多い。草刈りをしていない空き地が多く、出合頭にぶつかりそうになるなど交通安全の問題がある。所有者が不明だと私たちだけではどうもできないため、市と地域と一緒に解決できると良い。 タクシーが少なく乗れないという意見もあるが、乗る人が少ない現状があることも</p>
--

分かっている。

空き家に関しては新城地区には狭い道が多いため、それを何とかして住みやすい街になるとよい。解決策は見いだせていない。

○C グループ意見

公民館の老朽化が顕著である。補修では追いつかない。多目的機能を持った合同で利用できる（単独区でない）公民館があると良い。

4 その他連絡事項

(1) 第3回新城地域協議会について

開催日程が示された。令和8年6月18日（木）午後7時から 市役所4階会議室

(2) その他

事務局から地域活動相談窓口を広報するチラシの活用依頼がされた。

5 閉会